

広報

しんじょう

12
2004

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.564

ISO14001

14年7月認証取得



食品トレーを回収箱へ(11月23日/郷野目ストア)

食品トレーリサイクル……………2
 協働推進の指針案……………4
 一年を振り返って……………6
 コンピュータ内個人情報……………8
 江戸だより/いきいき新庄人……………9
 しんじょう見聞録……………10
 12月のお知らせ……………12
 豊かな心をはぐくむ……………14



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

食品トレーリサイクルシンポジウム

みんなの参加で

循環型社会を

市民・福祉施設・企業が協力し合い、食品トレーを資源として再利用することで、地球規模の環境汚染に歯止めをかけようという取り組みが新庄市で始まりました。この取り組みを食品トレーの利用者である市民の皆さんに紹介し、環境保全と障害者の社会参加について考えるためシンポジウムを開催しました。



全国からの関係者や市民約380人が参加した食品トレーリサイクルシンポジウム (11月25日/市民プラザ)



このシンポジウムは、友愛園・たんぼぼ作業所・(株)ヨコタ東北で構成する「P&Pトレーリサイクル研究会」が主催したもので、市と新庄TCM(株)が共催しました。開催地を代表して市長は「この素晴らしい取り組みを新庄方式として全国に発信していきたい」とあいさつ。来賓あいさつに続き、記念講演、事業説明、パネルディスカッションが行われました。シンポジウムでも話し合われたとおり、「新庄方式」の食品トレーリサイクルのシステムはできあがりしました。あとは市民の皆さんが食品トレーの回収にご協力していただくことが成功のカギです。どうぞこのリサイクルシステムへのご参加をお願いします。

記念講演

「環境と福祉がつなぐリサイクルの輪」

(財)地球・人間環境フォーラム
専務理事 平野 喬氏

二酸化炭素は地球になくてはならないものですが、地球温暖化の原因物質になっており、増え続ける二酸化炭素を減らすことが国際社会の大きな課題になっています。来年2月発効する「京都議定書」では、日本は1990年比で二酸化炭素を6%削減しなければなりません。2002年では7.6%も増えていますが、民生部門でみると28.8%も増加しており、わたしたちの便利で快適な生活が地球の環境を悪くしているのです。ところで、環境先進国のドイツでは、サッカー場での紙コップ使用をやめることで、ごみを半分以上減らしました。ポリプロピレンのコップを食器洗浄車が洗うことで何度でも使えるようにしたのです。小さな町のお祭りでもこのコップが使われています。日本人も高い環境意識・モラルを持っていますが、意識を実践するシステムが優れているという点で日本はドイツに負けています。(中略)

パネラー

社会福祉法人同愛会「幸陽園」

第1分場施設長 谷水克重氏

横浜市で知的障害者施設の運営に携わっています。横浜市はごみを3割減らそうという取り組みをしていますが、地産地消と同じように地場で出たものを地場で適正に処理する新庄方式を全国に展開していければ、環境問題だけでなく障害者の社会参加・貢献にもつながっていくと思います。



株丸江

営業部長 岸田 修氏

岩手県一関市を本拠にスーパーマーケットを展開しています。完全にリサイクルできるトレーとしてP&Pトレーを導入し、回収率が15%まで上がりました。お客さまの声を反映しながらお客さま一人ひとりが環境活動に参加できるよう進めていきたい。販売者としての役割・責任を果たすため何ができるかを考えながら貢献していきたいと思っています。



新潟大学リサイクル弁当箱会 会長 西瀨智希氏

新潟大学でリサイクル弁当の普及と回収活動をしています。3年前からリ・リパックを取り入れて、現在は65%の回収率を維持しています。洗わずにその場で回収できるとも良いシステムです。また、フィルムをはがすことでどんな人もわかりやすく環境問題に取り組めることが良いと思います。



株ヨコタ東北

社長 横田健二氏

阪神淡路大震災から再生トレーの技術が誕生し、今回の新潟県中越地震でも役立っています。家庭のごみでいちばん多いのがプラスチックトレーです。石油が高騰している今だからこそエコ運動を強力に推進できるのです。産業界はごみにせずリサイクルできる仕組みを提案すべきです。社会福祉法人が参加すれば意識も変わります。ごみにしないためには何度も使い、資源にするしかありません。その唯一の認定資格がエコマークです。今どんどんマイバック運動が広がっていますが、マイバックにはエコマーク認定容器に入ったものを買って入れようという市民運動を。そのために、行政・業界に市民の声を反映する運動ができればと思います。



「新庄方式」の食品トレーリサイクルとは…

市民(トレーを回収箱へ)・大型小売店(保管)・福祉施設(運搬・選別・ペレット化)・企業(原料として生産)がそれぞれ役割を分担して協力しながら使用済み食品トレーを再利用する仕組みです。

コーディネーター

(財)地球・人間環境フォーラム 専務理事 平野喬氏

P&Pトレーに出会ったきっかけ、リサイクルに取り組んでいる理由、今後の夢を実現するために取り組んでいることなどをお話してください。



日本で、洗って何度も使うリユースを検討しましたが、コップ1個18円、弁当箱では50円もコストがかかり無理でした。そのとき知ったヨコタ東北のリ・リパック容器について、環境への影響を測定したところ、リサイクル率60%では二酸化炭素の排出を50%も削減できるという結果が出ました。

新庄市の場合、行政や企業だけでなく、地元の福祉団体やスーパーなどの関係者がこぞって実現しようとしています。これに消費者・地域住民の方が参加してリサイクル率を高めたら、日本全国のモデルケースになる挑戦的な事業だと思います。皆さんのご健闘をお祈りします。

協働推進のための 指針を策定中

市は、市民・企業・行政などが互いの役割を尊重しながら、対等な立場で共通する課題の解決に向けて協力し合う「協働によるまちづくり」を目指しています。
4月から、公募委員を含む策定委員12名が「新庄市協働推進のための指針」づくりを進めています。
今回は、その案の概要をお知らせします。

指針【案】へご意見をお寄せください

「協働推進のための指針」案について、広く市民の皆さんのご意見を募集します。いただいた意見は、今後の指針づくりの参考にさせていただきます。協議結果はホームページなどで公表します。また、各種グループ・団体などでご要望があれば指針の説明にうかがいます。

●指針案(全文)の公表 12月10日(金)から

●公表の方法 ①市企画調整課で配布 ②市民プラザ、萩野・八向地区公民館、わくわく新庄、雪の里情報館に設置 ③市ホームページに掲載

●意見の提出期限 17年1月7日(金)

●意見の提出方法 意見・氏名(無記名は受け付けられません)・住所を記載のうえ、郵便、ファクス、eメールなどで提出ください(様式は自由ですが公表資料に意見用紙を添付しますのでご活用ください)
※氏名、住所は公表しませんが、ご意見については公開される場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎詳しくは、企画調整課市民協働広報室へ。

☎内線245・246/ファクス22-0989

eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

◆「協働」の目的と目標

まちづくりの本来の主役・担い手は、そこに住む地域住民です。そういった意味で、まちづくりは住民自らの手でまちの課題を解決し、自分のまちのあり方に責任を持つことと言えます。行政は、住民が創意と努力により力を十分に発揮できるようにする必要があります。

そして、行政の力だけでなく、市民や企業などの公益活動の担い手(公益活動主体)と協働することにより、本当の意味でのまちづくりが達成できるのです。

市は、市民・企業・行政の協働により、市民一人ひとりが主体的にまちづくりを担う、豊かでふれあいのあるまちを目指します。

◆基本的な考え方

協働の定義

この指針では、「協働」を「立場の異なる複数の公益活動主体が、それぞれの特性・役割・能力を認識・尊重し、相互に連携・補完しながら、共通の課題解決や目的達成のために尽力し、共に責任を分担し、相乗効果を生み出しながら協力すること」と定義します。

協働の意義と効果

協働が展開されることで次のようなことが期待されます。

1. 住民自治の発展

多様な公益活動主体が活躍することで、住民自治が発展します。

2. 地域社会を支える力の強化

公益活動への参画により「市民力」や「地域力」が高まり、企業の社会貢献活動も促進されます。

3. 住民ニーズの満足

柔軟な公共サービスの提供が期待され住民の満足感が高まります。

4. 地域の活性化

公益活動主体同士のネットワークの広がりにより交流の場が増え、まちに活気が生まれます。

協働の原則

公益活動主体は、次の原則に基づいて協働することが必要です。

1. 目的・目標の共有

何のために協働するのかという「目的」と、何をいつまでにどれだけ成果をあげるのかという「目標」を共有し合意形成します。

2. 相互理解

それぞれの特性や立場などの違いを尊重し認識しながら対話を進める中で、互いの理解と信頼関係を形成していきます。

「行革大綱」4本柱

- 財政の健全化 ● 行政運営システムの整備
- いきいきした機能的な組織・人づくり ● 市民をパートナーとする市政の推進

重要な歳入対策 未収金の回収

市の財政は、起債を活用した積極的な事業実施により借金が増え硬直化が進んだところに、市税や地方交付税などの主要な財源の大幅な落ち込みが重なり、危機的な状況となっています。

市は、事業の見直しや職員給与の削減などの歳出抑制とともに歳入の確保に務めており、その対策のひとつが未収金対策です。

本来、期限までに納めていただくべきものがまだ納められていない未収金は、景気低迷などの影響から年々増えており、15年度で5億4,100万円です。14年度に比べ1億500万円の増となっています。

市は、財政再建計画に基づき「歳入確保対策委員会」を設置し、収納対策に力を入れ取り組んでいます。

主な未収金(100万円以上)

項目	未収金の額
市税	3億3,851万円
うち市民税	5,132万円
固定資産税	2億4,679万円
軽自動車税	382万円
入湯税	481万円
都市計画税	3,086万円
保育料	504万円
公営住宅使用料	604万円
高齢者住宅貸付金	116万円
国民健康保険税	1億7,295万円
公共下水道受益者負担金	224万円
公共下水道使用料	422万円
農業集落排水受益者負担金	150万円
営農雑排水使用料	147万円
介護保険料	664万円

(平成15年度決算額)

◎ご意見など詳しくは、総務課行政改革推進室へ。

☎内線215・218

eメール soumu@city.shinjo.yamagata.jp

協働のための環境づくり

3. 対等な関係
それぞれの独立性や自主性を尊重し合い、上下関係や分け隔てのない関係のもとで協働を進めます。

4. 情報の共有
人材や物品のほか知識・技術・組織構成といった協働に必要な情報を共有します。

5. 透明性の確保
協働事業の企画・立案、実施、評価を通して透明性を確保し、社会的な説明責任を果たします。

6. 評価の実施
基準を定め評価・検証し、結果を公表します。そして、課題を明らかにし、次の協働へ生かします。

協働を推進するため、市は次のような施策を展開していきます。

1. 協働のための役割分担の確認
市民一人ひとり、地域コミュニティ組織、NPO、企業、行政などの公益活動主体それぞれが、その役割を認識し担えるよう取り組みます。
2. 意識づくり
地域社会に対する住民の意識を高めます。また、行政は、協働意識向上のため、積極的な関わりを持つようにします。

人材の育成と確保

けん引役となる人材を育成し、その質の向上を目指します。

4. 情報の提供・共有
公益活動について多くのの人に知らせるため広く情報を収集・発信します。できる限り結果のみでなく過程から住民にわかりやすく公表します。
5. 市政への参画の拡大
市政における政策形成、事業の企画立案や実施、行政評価への参画の機会を充実します。
6. 公益活動主体間のプラットフォームの形成
公益活動主体間のコミュニケーションを高めネットワークを構築することが大切であり、そのための機会の充実や場の設定を図ります。
7. 活動への支援
公平性を確保するための基準を設け支援を行います。
8. 条例の検討
行政の推進体制などの確立
関係する課に「協働推進委員(仮称)」を配置し、全庁的な組織として「協働推進本部会議(仮称)」を設置します。
10. 協働評価委員会(仮称)の設置
市民などで構成する「協働評価委員会(仮称)」を設置し、協働事業や協働推進状況を評価します。

振り返って

平成16年の 主な出来事



③約130人が集まった閉校式で「土内分校の歌」を合唱する児童



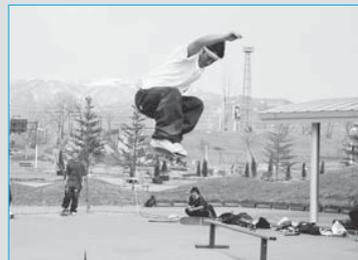
①「消流雪用水事業」の試験通水



②秋篠宮ご夫妻が雪の里情報館をご見学



⑥観光客でにぎわう観光サクラボ園



④オープン式典でスケートボードを披露



⑨山形新幹線新庄延伸以来5年ぶりに並走した山形新幹線「つばさ」と「SL義経号」

①豪雪期の水不足解消に向け、最上川から取水し市街地の流雪溝へ流す「消流雪用水事業」の試験通水を実施(1月15日～2月6日)

②秋篠宮ご夫妻、山形もがみ国体のためご来新。雪の里情報館をご見学(2月20日)

③萩野小学校土内分校が閉校。73年の歴史に幕(3月31日)、東部保育所閉所(3月31日)

④かむてん公園にスケートボード・ストリートバスケット広場オープン(4月6日)

⑤図書館ボランティア「かやのみ会」が「子どもの読書活動優秀実践団体」文部科学大臣表彰を受賞(4月23日)

⑥新庄初の観光サクラボ園オープン(6月20日～/泉田往還・中川果樹園)

⑦「あじさいを育てる会」が企画・運営し多くの市民・団体などが賛同・協力した「あじさいまつり」(7月4日/あじさいの杜)

⑧新庄市・舟形町合併協議会解散(7月31日)

⑨「おいしい山形デスティネーションキャンペーン」の一環として陸羽西線新庄～酒田間を「SLもがみ号」が力走(7月17日～19日)、同じく陸羽東線小牛田～新庄間(一部区間)を「SL義経号」と山形新幹線「つばさ弁慶号」が並走(9月18日～20日/並走は18日)

⑩玉川大学と市がバイオマス研究に関する協定を締結。これを記念しハイブリッドソーラーカーがデモ走行(8月4日/アビエス)

⑪魚類の生息環境を守るため22年ぶりに最上公園の堀を一斉清掃(11月4日～12日)

⑫教育・文化を通じた国際理解・親善を目的に、世界11カ国から20人の教員が来新。新庄養護学校、新庄中学校、新庄小学校、新庄南高校などを視察し子どもたちと交流(11月18日～21日)

⑬雪の里情報館が7周年を迎え記念式典を開催(11月25日)

⑭かもしかクラブ連合会が結成20周年を迎え記念式典を開催。同時に「第15回かもしかおたのしみ会」を開催(11月27日/ゆめりあ)

⑮山形新幹線「つばさ」新庄延伸5周年記念イベントを開催(12月4日/新庄駅・ゆめりあ)

市制施行 55年の歩み

- 1949** [昭和24年]
4月／市制施行、県内5番目の市となる
- 1950** [昭和25年]
5月／新庄市報創刊
- 1954** [昭和29年]
12月／初めての道路除雪
- 1955** [昭和30年]
1月／現市庁舎完成、4月／萩野村を合併
- 1956** [昭和31年]
9月／八向村を合併、11月／上水道給水開始
- 1962** [昭和37年]
11月／市で初めての完全給食(北辰小学校)
- 1966** [昭和41年]
12月／県内初の消雪道路が駅前通りに完成
- 1967** [昭和42年]
12月／国道13号新庄バイパス開通
- 1968** [昭和43年]
12月／全国2番目の無雪都市宣言
- 1970** [昭和45年]
11月／最上広域市町村圏事務組合設立
- 1972** [昭和47年]
2月／第1回新庄雪まつり開催
- 1974** [昭和49年]
8月／水害、雨量2日間で205ミリ、被害約36億円
- 1979** [昭和54年]
3月／第1次市振興計画策定(昭和61年第2次、平成8年第3次策定)、6月／市民憲章制定
- 1984** [昭和59年]
3月／平和都市宣言
6月／市の木・モミ、市の花・アジサイ制定
- 1986** [昭和61年]
8月／岡山県新庄村、奈良県新庄町(現葛城市)と友好自治体盟約締結(平成元年茨城県高萩市と友好都市盟約締結)
- 1987** [昭和62年]
2月／第1回みちのく民話まつり開催
10月／第1回もがみ大産業まつり開催
- 1992** [平成4年]
10月／べにばな国体開催
- 1994** [平成6年]
11月／駅前ふれあい広場「アビエス」完成
- 1999** [平成11年]
12月／山形新幹線新庄延伸
- 2002** [平成14年]
6月／天皇・皇后両陛下ご来新
6月～8月／全国都市緑化フェア開催
9月／エコロジーガーデン開園
- 2004** [平成16年]
4月／市制施行55周年を迎える

この一年を



⑦「あじさいを育てる会」が企画・運営した「あじさいまつり」



⑪最上公園の堀を一斉清掃



⑩ハイブリッドソーラーカーがデモ走行



⑭かもしかクラブ連合会が結成20周年



⑬記念式典で踊りを披露



⑫世界11カ国から20人の教員が新庄南高などを視察

コンピュータ内の個人情報保護されています

市のコンピュータには、多くの個人情報が記録されています。
個人の人権が侵害されることのないよう、住民基本台帳など法令で閲覧の定めがあるものを除き、自分の個人情報以外は知ることができないよう条例で保護されています。
コンピュータに記録されている個人情報の項目は次のとおりです。



※「新庄市電子計算組織の運営に係る個人情報の保護に関する条例」により公表します。

住民登録	住所・氏名・生年月日・性別	介護保険	被保険者名・保険料・認定内容
印鑑登録証明	印影・住所・氏名	児童手当	受給者の住所・氏名
住民税	所得額・控除額・税額	保育料	入所児童の住所・氏名・保育料
固定資産税	土地・家屋の所在・評価額・税額	福祉施設	入所者名・費用徴収額
国民健康保険税	世帯主名・税額	健康管理	各種検診の対象者氏名・結果
軽自動車税	所有者・ナンバー・税額	水道	使用者名・金額
税の諸証明	課税額・住所・氏名	下水道	受益者負担金
税収納消込	課税額・収納額	教育	新入学児の住所・氏名
税口座振替	口座番号・住所・氏名	農家台帳	農地基本台帳
給与	職員の給与	選挙	有権者の住所・氏名
国民年金	被保険者名・納付記録	公金支払	口座番号・住所・氏名
福祉年金	被保険者名・年金額	公営住宅	氏名・住宅使用料
老人医療	受給者の住所・氏名		

◎詳しくは、企画調整課情報統計室へ。☎内線425

地域づくり

平成16年度コミュニティ助成事業

～宝くじの助成金で整備しました～

この事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、地域のコミュニティ(地域社会)活動に助成を行うものです。平成16年度事業として、本宮一区会が助成を受けて事業を実施しました。



【本宮一区会】

●助成対象 コミュニティ広場の整備
(ゲートボール場の整備、子供の遊び場の整備、広場の遊具整備[ゲートボール・バドミントン用具、バスケットリング]、休憩施設の整備)

●助成額 240万円

※助成事業を実施したい自治会・町内会などのコミュニティ組織は、市にご相談ください。

◎詳しくは、企画調整課企画政策室へ。☎内線242

健康メモ

17年度から結核検診とBCG接種が変わります

近年、結核の発生は減っていますが、それでも全国的には年間の新しい登録患者は約3万人、年間の死亡者は約3千人とわが国最大の感染症の1つとなっています。今回、結核を取り巻く環境の変化に対応するため、結核予防法が改正されました。効果的な検診体制・乳児BCG予防接種の徹底・服薬治療の支援を重点に結核の発生を確実に減らそうというもので、17年4月1日から次のように実施されます。

結核健康診断(胸部レントゲン検診)

受診対象を現在の19歳以上から発生頻度の高い65歳以上に引き上げ年1回行います(肺疾患などで治療している人や医療機関で胸部レントゲン検査を受けている人は、受ける必要がありません)。

BCG予防接種

接種対象を現在の4歳未満から生後6カ月未満の乳児に引き下げBCG接種を行い、感染を確実に防ごうというものです(4歳未満でツ反・BCG接種をまだ受けていないお子さんは、今年度中に必ず受けましょう)。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

「あづま会」で新庄をPR

◆新庄藩江戸家老 森 公二さん
(最上商事ファイヤー21企画開発部長)

縁あって、東京消防庁にわらじを

脱いだ元消防士です。自慢の「わが故郷新庄」のPRは私なりにしてきました。上京して四十年間、帰郷は毎年で皆勤賞です。私が江戸家老になったきっかけは、荒川消防署勤務の中で、防災担当の仕事を通じて知り合ったJR東京駅お客さま室の坂口室長の推薦によるものでした。

地域住民への地震対策や火の用心の啓蒙、事業所の自衛消防隊の消防訓練指導が私の仕事でした。荒川消防署管内は、JR山手線日暮里駅・西日暮里駅周辺の史跡・名所旧跡が数多くある文教地区です。印象に残る思い出は、三遊亭好楽師匠とともに行った文化財防火デー訓練、片岡鶴太郎のお父さんなどの協力などで日暮里駅に百十九枚の色



紙展示を行った取り組みなどです。「防火に強い街づくり」を推進しながら良い

人間関係も構築されました。

おかげさまで、私の退職時、街の皆さんが百名参加して退職祝いをしていただき「あづま会」が誕生し、月例会として現在に至っています。この会で新庄まつりなど新庄の話が進み、さらに新庄まつりのPRが始まり、日暮里駅をはじめ西日暮里駅・三河島駅・田端駅にポスターを掲げ、日暮里駅でビデオ上映、東京駅で新庄まつりのミニチュア山車を展示することができました。

また、JR日暮里駅にお願いして新庄まつりバスツアーを開催したこともあります。そのときは、八月二十四日の宵まつりが何十年ぶりで中止となり、次の日の午前中だけでしたが、本まつりを見ることができました。参加者は、「日本一の山車」を見られて感激していました。その後、現在に至ってサクラランボトリバスツアー(舟下り・民話・東山焼など)を毎年実施し、城下町・新庄の見聞を行っています。今後ともあらゆる機会をとらえて新庄市をPRします。特に来年の新庄まつり二百五十年記念事業の成功を心からお祈りしたいと思います。

いきいき 新庄人

商品が売れたときは うれしかった

丹野亜弥さん(新庄南高2年)

「インターネットを見ながら自分たちがいいなと思う物を仕入れて売ってきました」と語る丹野さんは、駅前通りに開店したチャレンジショップ「南風」3店のうちの1つ「雑貨販売・YOってけ店」の社長を務めました。「南風」は、就労前に起業家としての視点を養い就職に対する意識を変えていくことを目的に、商工会議所の「高校生起業家教育モデル事業」として、駅前通りの空き店舗で8月下旬から11月までの3カ月間開店したものです。実際に会社を設立し、企画から販売まですべて高校生だけで行うもので、新庄南高商業科の全生徒が高校生起業家として企画・運営しました。

「3年生は、会社設立・経営管理・決算などの経営の基礎を専門家から学んで企画しました。雑貨・規格外野菜・外国のお菓子の中から、わたしたち1・2年生が自分たちでやりたいと思った店を選び、みんなで役割を分担しながら具体化しました。オープン前には接客のし方を学び、全員が何らかの役職名をつけ、それぞれが責任を持って“自分たちの仕事”として取り組みました。初めは若い人が来て

くれて雑貨が売れると思っていましたが、実際に来店してくれたのは年配の人が多く、雑貨より安く新鮮な野菜がよく売れました。雑貨が全く売れない日もあってどうしたら売れるか、また、仕入れの量や資本金の10万円を最終的にいくら残し、いくら利益をあげることができるかを考えたときはとても悩みました。しかし、自分たちが選んだ商品が売れたときは本当にうれしかったし、面白さを感じました。最初は、物を売るためにはどうしたらよいかわかりませんでした。自分からお客さんに声をかけて商品を紹介したり、雑貨の使い方や遊び方を説明したりしながら販売方法を工夫することができるようになりました」と丹野さんは起業家体験の難しさ面白さを語ります。

「この3カ月間で学んだことは、まずはここで何をやっているかという店の存在を知ってもらうこと、そして、買う人の目線に立った品ぞろえと入りやすい雰囲気作りが大切だということです。

自分の進路はまだ決まっていませんが、この経験が将来きっと役に立つと思います」と頼もしく語ってくれました。



▲南風「YOってけ店」前にて(左から2番目が丹野さん)

聞録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲長寿100歳のお祝い会(11月8日/新寿荘)



▲多くの人が楽しんだ「としょかんまつり」(11月6日～7日/市立図書館)



▲結成2年目のジュニア部も演奏した新庄吹奏楽団定期演奏会(11月7日/市民文化会館)



▲NHKラジオ全国生中継で新庄をPR(11月5日/ゆめりあ)



▲あじさいを育てる会がプリンターを寄贈(11月2日/市役所)



▲駅前通り商店会が市に寄付(11月22日/市役所)

長寿100歳おめでとう

佐藤カツエさん(明治37年11月8日生まれ)が満100歳を迎えました。長寿の秘訣は「くよくよしないで、よく働くこと」。佐藤さんは、若いころから製糸工場や魚の行商などをしながら8人の子どもを育ててきました。お祝い会で市長から「健康に気をつけ、ますます長生きしてください」とお祝いの賀詞が手渡されました。平成9年に制定された長寿祝いを受けた方は、今回で13人目となりました。

おはなしたのしい～

「第4回としょかんまつり」を開催しました。バルボンさんによる絵本の病院、読書会「さんざし」による朗読、俳句サークル「人」・「河」による俳句展示、おりがみ教室などに多くの人でにぎわいました。2,295冊の本が集まったリサイクルフェアは大好評。佐々梨代子さんの「世界の昔話」や、「かやのみ会」「ビタミンちゃん」「元気っ子クラブ」による紙芝居などでは、子どもたちが夢中で聴き入っていました。

“新庄”を全国へ発信

NHKラジオ秋の中継シリーズ「みちのくの秋に会いたい」の公開生放送で全国に新庄をアピールしました。民話、山車、食自慢、観光、まちおこしの各分野で活躍している市民が次々に登場。後半は、新庄民話の会が民話を披露。暮らしぶりや文化を紹介し、温かみある情緒あふれる新庄の良さを全国に伝えました。

バザーの収益を寄付

駅前通り商店会(代表/阿部浩悦理事長)がチャリティーバザーの収益金を市に寄付しました。バザーは地産地消と商店街活性化のため8月から11月まで開いた「青空市」と「もがみ大産業まつり」での計7回。市は、障害者などでも楽しめる軽スポーツ用具の整備にあてる予定です。



歯を大切に「8020運動」

11月8日「いい歯の日」に、80歳以上で自分の歯が20本以上残っている方々21人が「歯の長寿者」として表彰されました。受賞者は次の方です。沓澤良夫(大手町)佐藤幸子(住吉町)安食寅一(末広町)阿部三郎(一本柳)田口重雄(川西町)小関ハル(小泉)高山哲郎(本宮)早坂トヨミ(本宮)富樫定美(下金沢町)浅沼進(沼田町)笹仁左衛門(仁田山)浅沼コノエ(福田)奥山ちた子(升形)千丸勇太郎(泉田)渡部ミサヲ(荒小屋)日下タミエ(松町)高橋モト(常葉町)井上亀(木栄町)小笠原清六(川西町)菅原薫(中道町)高橋利子(石川町)

栄光をたたえて

■第59回国民体育大会

【ボクシング競技】少年の部ライトフライ級／②山口靖(酒田南／新庄中卒) 成年の部ライト級／③高橋雄介(東京農大／新庄北高卒)

■平成16年度河野一郎賞(陸上)

渡邊光(仙台育英高／明倫中卒)

■第46回山新杯ベーター駅伝競争大会

総合・一般の部／初優勝新庄・最上(石井貴大・前田信一・井上徹・菅野学・斉藤伴和)

■県中学校新人体育大会

【バドミントン】男子／団体③新庄 個人シングルス③高橋雅樹(新庄) 女子／団体③日新 個人シングルス②小野裕美(新庄)③松田直子(日新) ダブルス③芳賀友紀・高橋沙耶香(日新) 【相撲】団体 1部③明倫 2部②日新 個人1部③長沼雄樹(明倫) 【柔道】男子／個人55キロ①叶内雄大(明倫) 66キロ③上野克(明倫) 90キロ超②笹貴裕(日新)③荒澤圭(新庄) 女子／個人63キロ③高山美咲(日新)

■東北ブロック中学校新人体育大会

【バスケットボール】Aブロック男子③八向 同女子③日新 Bブロック男子②新庄 同女子③明倫 【サッカー】Bブロック③新庄 【柔道】男子／個人55キロ②叶内雄大(明倫) 66キロ③上野克(明倫) 81キロ③西田統(日新) 90キロ③長沼雄樹(明倫) 90キロ超①荒澤圭(新庄)③笹貴裕(日新)金藤拓馬(日新) 女子／個人48キロ②今田果那(明倫) 63キロ②高山美咲(日新)

■最上地区中学校新人体育大会

【相撲】団体／1部③明倫 2部②日新 個人／1部



▲「むし歯サミット in 新庄」で表彰された歯の長寿者(11月8日／市民プラザ)



▲バイオマスの取り組みや最上の自然を生かした潜在力について話し合った産学官研究シンポジウム(11月16日／ニュグランドホテル)



▲日本テレビアナウンスカレッジ学長・石川牧子氏が講演した男女共同参画講座(11月21日／ゆめりあ)



▲声優・小原乃梨子さんが講師を務めた「バルボンの公開講座」(11月13日／市民プラザ)

②吉野一馬(日新) 2部③金藤拓馬(日新)③今田卓耶(明倫)

■第26回新庄市総合体育大会(1位のみ掲載)

【ソフトボール】中学女子日新 【サッカー】Aブロック沼田スポ少Bブロック泉田スポ少 【柔道】男子／小学校低学年笹雅俊(日新) 同中学年山科凌(日新) 同高学年阿部貴頼(丹野柔道スポ少) 中学生団体明倫 女子／小学校低学年落合美律(日新) 同中学年森遥香(日新)

同高学年伊藤史佳(泉田) 中学校個人高山美咲(日新) 【野球】新庄信用金庫 【クレー射撃】スキート須藤孝一 トラップA伊藤好一 トラップB大山隆 トラップC佐藤国夫 総合佐藤義幸 【自転車】小学校MTB加藤拓朗(沼田) 小学校クリテリウム男子加藤拓朗(沼田) 同女子遠藤桂花(北辰) 小学校低学年タイムトライアル吉田和志(沼田) 同高学年加藤拓朗(沼田)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

シネマ・アベージュ最新映画情報

- 「ハウルの動く城」1月上旬上映予定
 - 「ゴジラ FINAL WARS」「隠し剣 鬼の爪」上映中
- ◎シネマ・アベージュ ☎28-8884

募集

城下町しんじょう 探訪講座

▼とき 12月21日(火)午後1時
30分〜2時30分(3月まで全
6回) ▼ところ ゆめりあ会議
室 ▼内容 新庄入城以前の戸
沢氏の歩み(第2回から寺
社・偉人・城下町などを予定)

▼参加費 無料
▼申し込み 12月17日(金)まで
☎新庄市観光ガイド協議会
☎22-2340

国際交流のほ はごころーチャ・Cha!ー茶!

▼とき 12月18日(土)午後1時
30分〜3時30分 ▼ところ 市
民プラザ ▼内容 歌と紅茶で

産直まゆの郷 年末みそか祭

- とき 12月28日(火)〜31日(金)
午前9時30分〜午後6時
- 内容 正月用もち・花・新米・野菜・きの
こ・漬物・農産物・正月用品の販売など
- 「初売り」は1月1日からです。詳しくは、
産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課農林
振興室 ☎内線261へ。

市民スキー場 12月28日オープン

- 今シーズンは祝日を除く毎週月曜日は
休業します。
- 期間 12月28日(火)〜2月27日(日)午前9時
〜午後9時(但し平日は正午から)
- ※降雪やゲレンデコンディションによりオー
プンが遅れる場合があります。
- ◎詳しくは、生涯スポーツ課へ。☎22-0681

国民年金保険料は 所得税控除の対象です

16年中に納めた国民年金保険料は、全
額が社会保険料控除として所得税や市・
県民税申告の控除対象となります。納め
た領収書を申告のときに提出してください。
◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-
2050、市民課国民年金担当 ☎内線134へ。

気分はクリスマス!

▼参加費 100円(茶菓子代)
※当日直接会場へどうぞ
☎市民プラザ ☎22-4200

新庄コンピュータ専門学校 17年度生

▼対象 高卒(見込み)または
同等以上の学力の人
▼学科 情報システム工学科
(40人)、OAビジネス科(OA
コース/公務員コース各20人)、
医療ビジネス科(20人/17年
度新設) ▼修業年限 2年
☎新庄コンピュータ専門学校
☎29-2121

華道教室

▼とき 12月27日(月)/お正月
の花、2月8日(火)/春の花、
3月30日(水)/桃の節句の花、
いずれも午前10時〜正午

▼ところ わくわく新庄

▼講師 中川シゲ子さん
▼材料代 後日連絡 ▼持ち物
はさみ、剣山 ▼定員 各20名
☎わくわく新庄 ☎23-0197

ときめきねりんピック 2004「美術展」作品

▼対象 県内在住の昭和21年
4月1日以前に生まれたアマ
チュアの人 ▼作品 日本画、洋
画、彫刻、工芸、書、写真(本
人が創作した未発表作品1人
1点) ▼申し込み 1月7日(金)
まで ▼展示 2月3日(木)〜6
日(日)/山形美術館
▼観覧料 無料
☎山形県老人クラブ連合会
☎023-622-15601

県立農業大学校 17年度学生

▼出願資格 高卒(見込み)ま
たは同等以上の学力の人

県立産業技術短期大学校 17年度学生

▼出願資格 高卒(見込み)ま
たは同等以上の学力の人

災害義援金の受付

新潟県中越地震の被災者に対
し、これまで市の窓口で503,000円
の義援金が寄せられています(11月
末現在)。ご協力ありがとうございます。
今後ともご協力をお願いします。
○新潟県中越地震 12月28日(火)まで
○受付場所 市役所市民相談室また
は日赤新庄市地区(大手会館内)
◎詳しくは、市役所市民相談室 ☎内線
125、日赤新庄市地区 ☎22-5797へ。



▲新潟県中越地震の支援活動に職員4名
を派遣

▼学科 稲作経営学科、園芸
経営学科、畜産経営学科
▼修業年限 2年 ▼一般入校
選抜試験日 2月10日(木) ▼出
願期限 1月11日(火)〜24日(月)

県立産業技術短期大学校 17年度学生

▼出願資格 高卒(見込み)ま
たは同等以上の学力の人

大学生・社会人のための 冬期海外派遣

語学研修やホームステイ、N
GO視察などを通して青年を
育成するプログラムです。

▼期間 2月中旬〜3月上旬
(10〜14日間)

▼コース イギリス、カナダ、オ
ーストラリア、アメリカ、インド
ネシア、カンボジア

▼参加費 21万円〜33万円

放送大学学生 (4月入学生)

放送大学は、テレビ・ラジオ

☎023-643-8431



スギヒラタケ
安全性が確認されるまで
食べないでください
◎厚生労働省

12月のお・知

相談 など

出張無料税務相談

- とき 12月17日(金)午前10時～午後3時
 - ところ 市役所西庁舎市民相談室分室
 - 内容 所得税、消費税、相続税、資産の譲渡などの国税について
 - 対応 仙台国税局税務相談室酒田分室
- ◎今年度最後の相談です。詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線143

NPO・市民活動相談会

- 活動してみたい、組織を立ち上げたいなど、NPO・市民活動についての相談なら何でもお受けします。
- 12月20日(月)午後2時～5時／語らい長屋(駅前通り)
 - 12月21日(火)午後1時～4時／NPOもがみ事務室(エコロジーガーデン内)
- ◎詳しくは、NPOもがみへ。 ☎29-2141

国の教育ローン

- 対象 高校・大学・専修学校などの入学・在学者
 - 融資額 学生・生徒1人に200万円以内
 - 返済期間 10年以内
 - 利率 年1.7%
- ◎詳しくは、国民生活金融公庫山形支店へ。 ☎023-642-1331

個別労働関係紛争の無料あっせん制度

労働者と事業主との間のトラブルを話し合いにより解決する手強い(あっせん)をします。
◎詳しくは、山形県地方労働委員会事務局へ。 ☎023-630-2793

工業統計調査にご協力を

製造業の実態を明らかにするため、毎年12月31日現在で調査を実施しています。調査結果は、国や県の行政施策の基礎資料、企業や大学の研究資料などとして広く利用されます。

- 対象 主として製造業を営む全ての事業所
- 内容 経営組織、従業者数など

※12月中旬に調査員がうかがい1月上旬に調査票を回収します。
◎詳しくは、企画調整課情報統計室へ。 ☎内線426

お知らせ

▼申し込み 1月10日(月)まで
国際青少年研修協会
☎03-33659-8421

農業委員の 選挙人名簿への申請

新庄市農業委員の選挙人名簿は、有権者からの申請に基づき、毎年1月1日現在で、その選挙資格を調査し作成します。申請がない場合は選挙人名簿に登録されず、選挙があつても投票できなくなり、該当する人は必ず申請してください。

▼申請できる人 市内に住所があり満20歳以上で、次の①②いずれかに該当する人

①10アール以上の農地があり、耕作を営む農業経営者

②①の農業経営者と同居の親族またはその配偶者で、年間60日以上耕作に従事する人

▼申請方法 「農業協力員がいる地区」協力員を通じて配布する申請書に記入し協力員に提出、「その他の地区」農業委員会に申請(申請書は農業委員会にあります)

▼申請期限 1月10日(月)

問 農業委員会事務局
☎内線257

パソコンボランティアを 派遣します

在宅障害者にパソコンボランティアを無料で派遣しサポートを行っています。事前に利用登録し、派遣を受ける1週間前まで申し込みください。

問 山形県身体障害者福祉協会
☎023-686-3690

建設業退職金共済

建退共は建設事業主と建設現場で働く人のための退職金制度です。全国どこでも事業主がかわっても退職金は通算できます。

▼掛金日額310円

問 建設業退職金共済山形県支部
☎023-632-8364

調理師業務従事者届

調理業務に従事する調理師は、「調理師業務従事者届」を提出する必要があります。

▼提出期限 1月14日(金)

問 提出先 最上保健所
最上保健所 ☎22-3571

入所児童を募集しています — 認証保育所 —

新庄市が新たに設けた独自の認証制度による認証保育所では、来年4月から入所する児童を募集しています。現在、この制度による認証保育所は次の施設です。それぞれの特色や保育時間、利用料金など詳しいことについては、各認証保育所に直接お問い合わせください。申し込みは、随時受け付けています。

施設名	所在地	電話番号
乳幼児託児所はぐくみ	明倫通り	22-1276
なかよしこども園	大手町	23-0026
はなまるはうす	住吉町	23-1633
乳幼児託児所ひまわり	金沢新町	23-5182
にこにこベビーホーム	城南町	23-8538
ゆりかご保育園	下金沢町	23-6787
新庄ベビーホーム	上金沢町	23-2433

◎詳しくは、福祉事務所児童支援室へ。☎内線545

駐輪場の冬期閉鎖と 自転車の撤去

新庄駅前ふれあい広場(アビエス)と駅東口交通広場の駐輪場を冬期閉鎖します。これまで駐輪場を利用していた人は駐輪場から移動し、自分で保管してくださいをお願いします。
○移動期限 12月24日(金)午前9時
◎詳しくは、都市開発課花みどり推進室へ。 ☎内線535・536

飲酒運転4(し)ない運動

- ①運転するときは酒を飲まない
 - ②酒を飲んだら車を運転しない
 - ③運転する人に酒を飲ませない
 - ④酒飲み運転は見逃さない
- ◎詳しくは、環境課消防交通安全室へ。☎内線435

「豊かな心をはぐくむ」

——新しい時代への人づくり——

これまで「豊かな心をはぐくむ」をテーマに、学校、保護者や地域の人たちが協力して子どもたちを育てている様子を十二回シリーズで紹介してきました。最終回の今回、まとめとして全体を振り返ります。

工夫と努力で教育改革

国では、全国的な課題である少年非行や不登校などの増加に対処するため、さまざまな施策や事業を展開しています。市でもそれらの事業を受け、学校で授業に参加できない子どもたちのために適応教室の運営を充実させ、問題行動の防止へ向けた地域ネットワークづくりを進めています。

また、大きな教育改革の流れの中で、学校は新たな教育課題への対応を求められており、「二学期制」の導入などに積極的に取り組んでいることも紹介しました。各校では、子どもたちの豊かな心を育むために、さまざまな工夫と努力を取り入れた教育活動が展開されています。

例えば、小学校給食では、年に数回、バイキング形式が取り入れられています。そこには、子どもたちのために教員と一体となり働く

調理師の協力があります。学校では、多くの課題を抱えながらも、このような大人とのかわりが子どもたちの笑顔を支えています。

家庭・地域でも大人とのかわりが大切

幼児期のしつけなど人格形成の基本は親や周りの人の愛情です。子どもを育てていくには、大人のかかわりが欠かせないのです。このことから、「地域の子どもは地域で育てる」活動の意義は、非常に大きいものがあります。

しかし、複雑化する現代社会では、望ましい大人のかかわりが希薄になり、その結果、子どもたちにさまざまな問題が起こり、心身ともに十分な発達ができない子どもが現れてきていることも事実です。

家庭・地域・学校が手をたずさえて

市内の小中学校での不登校者数



▲バイキング形式の給食(北辰小)

は、十四年度をピークに減少傾向に転じています。また、以前に比べ、授業中の子どもも落ち着きを取り戻しています。このことからこれまで紹介してきた学校や地域の取り組みの成果が着実に現れてきているといえます。

今、子どもたちの豊かな心を育てていくために、大人の役割と責任をもう一度見つめ直していくことが必要です。最後に、次のことを確認して、本シリーズを締めくくります。

●家庭・地域・学校が、それぞれの立場で役割と責任を自覚し、十分な子どもへのかわりを具体化していきます。

●家庭・地域・学校は、互いの立場を支え合い、それぞれの役割が最大限に発揮されるような信頼と連携を築いていきます。

(新庄市教育委員会)

栄光を
たたえて

第56回最上児童展

特別賞

【小学生／平面】後藤愛(日新)門脇利生(北辰)【小学生／立体】早坂拓(日新)叶内奨也(日新)【中学生／平面】広橋貴文(新庄養護)

奨励賞

【小学生／平面】高山瑞基(昭和)石井菜々子(昭和)白旗那地(新庄)石山美乃莉(新庄)柴田笙子(新庄)姉崎壮一郎(新庄)荒川莉彩(日新)矢口裕也(日新)亀井諒太(日新)橋見華央里(日新)浅沼里菜(日新)佐々木徹(沼田)吉田和志(沼田)井上陽太(北辰)武田汐莉(北辰)遠藤桂花(北辰)矢作陽輝(山屋)【小学生／立体】大野麻美(沼田)小野和香菜(北辰)小野楓(山屋)井上嵐士(新庄養護)【中学生／平面】佐藤美保(日新)松田あゆみ(日新)田口嗣大(秋野)今田隆介(明倫)

佳作

【小学生／平面】須藤修平(泉田)渡邊響介(新庄)加賀谷慧(新庄)山科龍矢(新庄)三浦祥吾(角沢)柿崎龍聖(日新)八鍬光太郎(日新)早坂雅子(日新)花岡風馬(日新)富山咲(日新)高橋あずさ(沼田)多田脩人

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『草の輝き』 佐伯一麦 著

より自分らしい、もうひとつの生き方を求めて会社を辞め山形駅に降り立った柊子。厳しい師匠のもとで草木染の修行に励む日々。初めての雪に悪戦苦闘しながらも明るく、ひたむきに生きる若い女性のものごとがたり。

身近にある植物が「草木染」いう手段で別の命を与えられるのも興味深い。



●今月のテーマ展示●

『雪』

また雪の季節になりました。降る日を待ちかねている人、そうでない人といろいろですが、今月は図書館で「雪」をお楽しみ下さい。「科学」「文学」「生活」と雪に関するさまざまな本を展示します。

新着図書

- ◆シナン(上・下) ……夢枕 獯
- ◆対岸の彼女 ……角田 光代
- ◆中国美人伝 ……陳 舜臣
- ◆全国優良病院ランキング ……日経メディカル
- ◆なれずもの ……中島 らも
- ◆私が愛した金正日 ……落合 信彦
- ◆王狼たちの戦旗(上・下) ……ジョージ・R・R・マーティン
- ◆さむらい-死恋の剣- ……鳥羽 亮
- ◆動物記 ……新堂 冬樹
- ◆星とよばれた少年 ……ロディ・ドイル
- ◆一葉舟 ……領家 高子
- ◆神田神保町古本屋散歩 ……毎日新聞社
- ◆日銀券(上・下) ……幸田 真音
- ◆靴に恋して ……谷村 志穂
- ◆哲学キーワード辞典 ……木田 元
- ◆初恋 Vol.2 ……チョ・ソヘ
- ◆江戸三〇〇藩バカ殿と名君 一うちの殿様は偉かった? ……八幡 和郎
- ◆恋愛の国のアリス ……嶽本野ばら
- ◆そのときは彼によるしく ……市川 拓司
- ◆裏のハローワーク ……草下シンヤ
- ◆行列のできる丸山法律塾 ……丸山 和也
- ◆レゴの本-創造力をのばす魔法のブロック- ……ヘンリー・ヴィンセック
- ◆ラブレター ……いわさきちひろ
- ◆カブキ101物語 新装版 ……渡辺 保
- ◆Fake ……五十嵐貴久
- ◆臨床心理士になるには ……乾 吉佑

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

主体的に生きていくための手助けに

～子どもの読書推進フォーラム～

11月18日、新庄・最上の子ども読書推進実行委員会の主催で「子どもの読書推進フォーラム」が開催されました。

「子どもの本研究者」の広瀬恒子さんを迎え、参加者は子どもたちの読書活動を取り巻く現状や子どもたちの成長過程における本の重要性、広め方などについて考え話し合いました。

講演では、「子どもが、言葉を学び感性を磨き想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を育むためには本が必要不可欠です。また、子どもたちの読みたい・知りたいに答え、子どもたちが良い本と出会えるようにする

には、子どもと本を結ぶ人の存在がとても重要です。図書館や学校の司書、地域の読み聞かせなどのボランティアや親が、それぞれの役割の中で連携しながら、子どもたちの読書に対する意欲を育んでいく必要があります。例えば、日常生活で子どもとの何気ない対話の中に、一緒に読んだ本の出来事を織り交ぜ、親と子が本をともに楽しみ合う雰囲気づくりも大切です。

ただ本が好きな子どもを育てるのではなく、本を通して人間として自分自身の考えを持ち、主体的に生きていくための手助けとなるよう子どもを理解しながら、本が好きな子どもを温かく育ててほしい」と広瀬さんは語りました。

講演終了後、新庄・最上地区内の学校での朝読書の取り組みやボランティアによる読み聞かせの状況などのアンケート結果をもとに「本好きの子どもを増やそう」というテーマでパネルディスカッションが行われました。



▲パネルディスカッション(11月18日/市民プラザ)



- 〔中学生/立体〕澤井裕 (日新)
- 〔中学生/立体〕立
- (新庄養護)
- 綾乃(日新) 齋藤梨沙(秋野) 森拓真 (新庄養護)
- 〔中学生/立
- 体〕澤井裕 (日新)
- (沼田) 佐藤沙耶花(沼田) 加賀瑠里 (本合海) 清水賢治(本合海) 齋藤和毅(本合海) 〔小学生/立体〕吉田悠人(日新) 小野美乃里(日新) 加藤美緒(日新) 井上優美子(沼田) 武田涼太(北辰) 小野文太(山屋) 〔中学生/平面〕柏倉由貴子(新庄) 高橋絵理華(新庄) 高山直哉(日新) 奥山

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～



白銀 粉雪 山車が舞うの図

「山車づくりって、本当に総合芸術なんだよ」「ところで」「山車を雪の中引いてみたいと考えたことない?」「粉雪舞う中、山車がどんなに映えるか、想像しただけでもドキドキする」「スリッパや人形・衣装などの雪対策など課題はあるけれど」「実現させたいね」「んだよな。夢に終りたくないな」「ほら、目つむって想ってみる。雪の中小若がまっかなホッペで山車引いて・・・なんとも美しいことよ・・・」

(絵と文 加藤良哉)

「山車づくりの魅力や夢中にさせるものって何々だろう」「職業を越えて同じになれる、人とのつながりかな」「小若と囃子方、若衆と一つになれること」「地域・町内の協力のあたたかさもある」「初めて参加した時の感動。鳥はだ立ったよな」



はがせる容器の感想を述べる子どもたち(11月23日)

11月号の正解は「25年間」でした。広報11月号を読んだ感想から紹介します。「わたしの会社でもISO14001を認証取得して、ごみの分別には特に気をつけています。新庄市でもISO活動に積極的に取り組んでいるので大変なことだと思っています。ごみをいかに出さないか、リサイクルできるものはないかが重要なことだと考えています。ごみがない社会にできたら素晴らしいことではないでしょうか」

12月号では、5人に図書券をプレゼントします。

表紙の真写真

トレーは回収箱へどうぞ

～食品トレーリサイクル開始式～

食品トレーのリサイクルに福祉施設が参加する全国初の画期的なシステムがスタート。運搬するたんぼ作業所の矢口さんがリサイクル開始を宣言。日新小学校の5年生が給食会で使った弁当箱を回収箱に入れリサイクルを開始。市民の幅広いリサイクルへの参加を呼びかけました。



かむてん クイズ



さて問題です。新庄市は市制を施行してから今年で何年でしょう。①50年、②55年、③60年/はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んだ感想など」を書いて、〒996-8501 新庄市企画調整課市民協働広報室あて、12月24日まで応募してください。ファクス 22-0989/eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

10 月末現在の新庄人

41,339人 (41,501人)

女 21,530人 (21,597人)

男 19,809人 (19,904人)

世帯数 13,496世帯 (13,392世帯)

10月の異動

出生 31人 (35人)

死亡 40人 (49人)

転入 75人 (106人)

転出 81人 (97人)

※()は1年前の住民基本台帳



再生紙100%と環境にやさしい大豆油インキを使用しています